

(様式1-2)

## I 学校の概要

主体的・対話的で深い学びの実装推進モデル校事業 観音寺市立粟井小学校

### ◆学校の特色

本校は、全校児童49名の小規模校である。学習課題にまじめに取り組み、素直な反応をする児童が多い。令和7年度全国学力・学習状況調査と令和6年度香川県学習状況調査の結果から、特に課題と考えられる点を取り上げたところ、必要な情報を見つけたり複数の情報を関連づけて理解を深めたりする力や、文の構成を理解したり表現の工夫を捉えたりする力が不十分であることが分かった。

## II 研究主題等 研究主題 主体的に学びに向かう児童の育成

～読みたい、書きたい、話したい 国語科の授業づくりを通して～

### ◆研究主題設定の理由

SNS等の発達により、子どもたちを取り巻く言語環境も大きく変化を遂げ、コミュニケーション能力の低下、読解力や情報整理選択力の低下など様々な課題が明らかになりつつある。それらの課題を解決していくためには国語科を中心とした「言語能力」の育成を効果的に行っていくことが重要と言える。

本校児童の実態を令和7年度全国学力・学習状況調査や令和6年度香川県学習状況調査の結果から分析したところ、情報の活用や文章の読み取り、読解に課題があることが分かった。これらは「言語能力」の育成を行っていく上で大きな課題と考えられた。また、学習に関する意識調査から、国語の学習に対する苦手意識も見られるとともに、学習に主体的に取り組んでいこうとする意識にも課題があることが分かった。そこで、それらの解決をめざして、研究主題を「主体的に学びに向かう児童の育成」副主題を「読みたい、書きたい、話したい 国語科の授業づくりを通して」とした。

### ◆研究内容及び方法

単元のねらいや目指す子どもの姿を明確にし、それを達成するための手段として、以下の3点を重点に取り組む。

- ① 学びがいのある課題設定を工夫することで主体的学びを喚起する
- ② 自己選択・自己決定の場を意図的に設けることで主体的で対話的で深い学びへ繋ぐ
- ③ 振り返り活動を適時行うことで、学びの過程を含めた伸びを実感できるようにする

## III 成果の評価計画（検証方法）

- 国語科学習に関する内容を中心とした児童の実態調査の分析
- 全国学力・学習状況調査の結果及び質問紙内容の経年比較による分析
- 学校評価による教職員の意識調査の分析
- 評価テストの分析
- 授業の見取り及び、表現物や振り返りの分析

## IV 研究成果の普及方法

- 研究主題解決に向けた国語科の授業公開
- 香川の教育づくり発表会など、機会を捉えた研究成果の発表